



心に水やりを

2 年 学年主任 檜垣 知美

うまくいかないことがあると、何かのせいにしてしまいそうな情けない自分があります。そんなとき、私はこの詩を思い出すようにしています。目の前の人や物事に真正面から向き合い、感受性を磨いていかなければならないと、この詩は教えてくれます。「自分の感受性くらい 自分で守れ ばかものよ」、とてもきつい言葉ですが、作者が自分を鼓舞したこの言葉に、私はいつも励まされています。

自分の感受性くらい

茨木 のり子

ばさばさに乾いてゆく心を
ひとのせいにはするな
みずから水やりを怠っておいて

気難しくなってきたのを
友人のせいにはするな
しなやかさを失ったのはどちらなのか

苛立つのを
近親のせいにはするな
なにかも下手だったのはわたくし

初心消えかかるのを
暮らしのせいにはするな
そもそもが ひよわな志しにすぎなかった

駄目なことの一切を
時代のせいにはするな
わずかに光る尊厳の放棄

自分の感受性くらい
自分で守れ
ばかものよ



茨木のり子さんは、10 代後半の日々を太平洋戦争中に過ごし、東京で空襲や勤労動員を体験しました。この詩は、戦争によって生活から芸術や娯楽がすべて消えていった時の胸中の思いをうたいあげたものです。

「駄目なことの一切を 時代のせいにはするな」今年、この言葉はいつもとは違う意味を持って心に響きます。コロナ禍によって価値観の相違が普段より濃く現れ、親しい人のこれまで気が付かなかった新たな一面が露呈し、人間関係に亀裂が生じるケースもあるそうです。不安や偏見から差別が生じたという話も耳にします。

一方で、コロナ禍ゆえに感じる優しさや愛情、ありがたさがあります。私自身、家族や友人、近所の人、職場の仲間などの存在を改めてありがたく感じています。

自分の乾いていく心を、自分の感受性を守っていくためには、自分の心に水やりをする必要があります。こんな時代だからこそ、一層、自分を支えてくれる人の存在を信じ、感謝すること、自分の目の前のことに前向きに取り組むこと、さらに、自分の、そして他者の尊厳を守っていくことを大事にしなくてはならないのだと思います。

令和 3 年 2 月 行事予定

日	曜	行	事
1	月		
2	火	語の日	
3	水	3 年登校日①	えひめスーパーハイスクールコンソーシアム（オンライン開催）
4	木		インターンシップ(2年)
5	金		
6	土	進研マーク模試(2年)	公務員模試(1・2年)
7	日		第35回商業経済検定試験(9:00～9:40)
8	月	校納金引落	A L T 来校 朝の読書週間
9	火	推薦入試	
10	水	3 年登校日②	A L T 来校
11	木	建国記念の日	
12	金	第3回人権・同和教育ホームルーム活動(1・2年)	就職模試(2年) 第3回漢字能力検定
13	土	土曜課外⑩(1・2年)	
14	日	トイレ修繕工事に伴う停電	
15	月	学年末考查発表(1・2年)	身だしなみ指導(1・2年)
16	火		
17	水	3 年登校日③	学校保健委員会(書面開催) 第2回 P T A 役員会(18:30～視聴覚教室) 第5回 P T A 常任委員会(書面開催)
18	木	校内漢字テスト⑩	小論文トレーニング(1年普)
19	金		
20	土		
21	日		
22	月		学年末考查(1・2年)
23	火	天皇誕生日	
24	水		
25	木		
26	金	3 年登校日④	養正会入会式
27	土		
28	日	卒業式予行(3 年登校日⑤)	

< "有終の美" を飾れるように >

3 年生は 2 月、家庭学習期間となります。新しい進路に向けての準備期間として、大学・専門学校・会社等に向かうための課題や手続きを確実に完了するのはもちろんのことですが、今こそ自分をじっくり見つめ直しておいてほしいと痛切に感じます。どの進路においても、他者に迷惑をかけることなく自分で基本的生活を継続し、高校卒業後も、知識・技術を自発的に身に付けて成長していけるように、求められる自覚や心構えを、若い希望とともに携えて、3 月 1 日の卒業式を迎えてほしいと願っています。